

質問回答書

令和4年6月30日

入札参加者様

公益財団法人 横浜市建築保全公社
設備課長

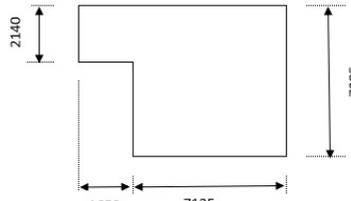
件名 横浜商業高等学校空調設備改修工事(機械)

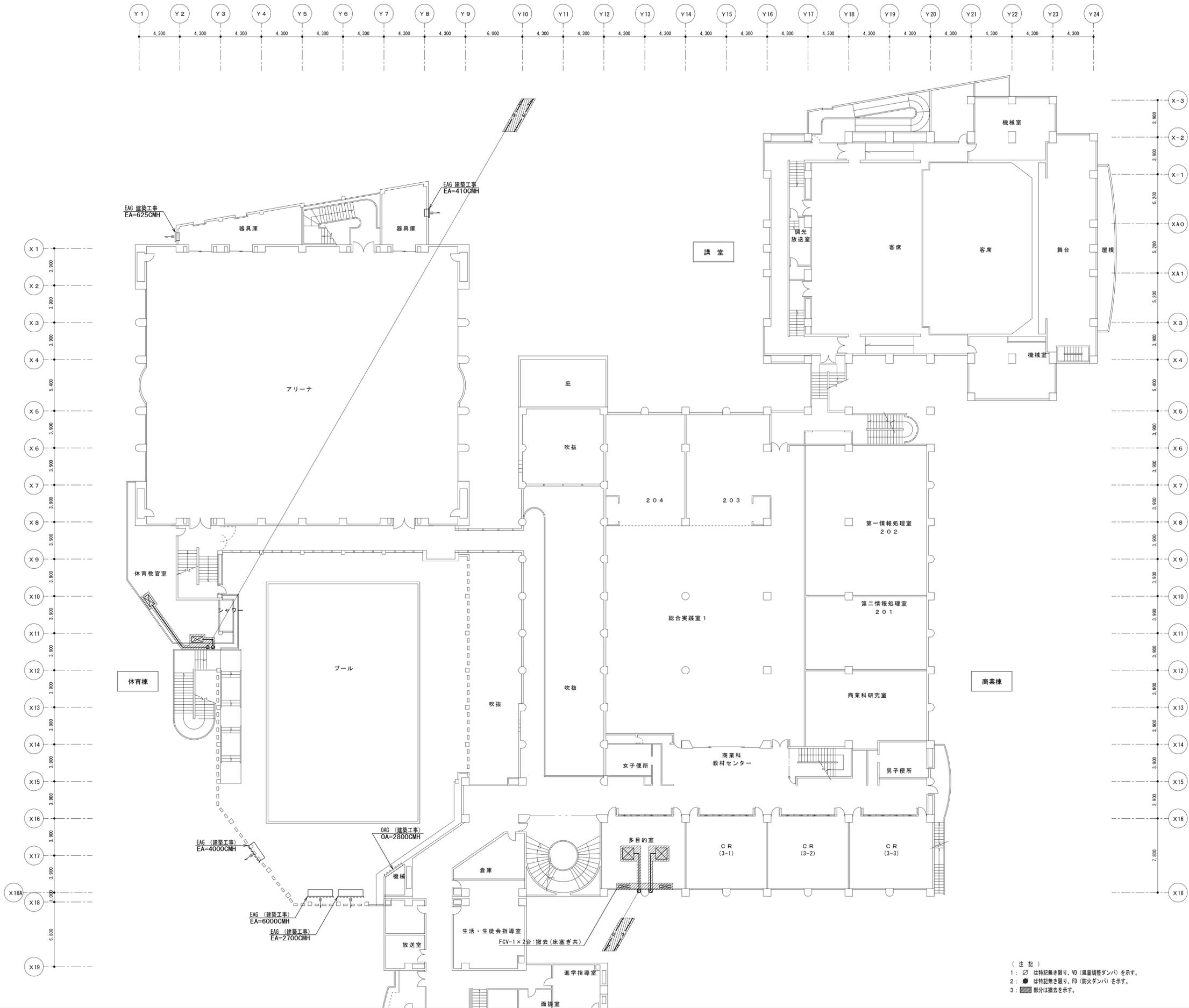
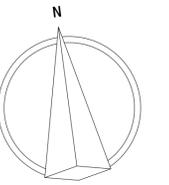
上記の設計図書に関し、質問がありましたので、次のとおり回答いたします。

	質 問	回 答
1	M-03 教育棟中庭の足場①は本工事なので しょうか。	本工事対象外です。
2	M-04, 02 冷暖フリー用分岐ユニットの電源工事 は別途工事と考えてよろしいでし ょうか。	別途工事です。
3	M-06 体育棟の2階、3階の階高が「*,***」 となっており、足場の掛け面積が分 かりません。ご指示願います。	2F~3F 3,700 3F~RF 6,000 です。
4	M-07 コア抜き「※ φ75」の数量が、平 面図では4か所、図面右下の一覧表で は3か所になっています。どちらが正 しいのでしょうか。	一覧表の3か所で積算してください。
5	M-07 コア抜きの口径は75φ、100φ、 125φとなっていますが、冷暖同時空 調機の配管は三管式のため、その口 径では通りません。どのように考え ればよいのでしょうか。	コア抜きの口径は、図面どおりの数値で積算してく ださい。
6	M-07 外壁の冷媒管ラッキングは、三管式 配管のため通常より大きくなってし まいますが、ガルバリウムラッキン グでよろしいのでしょうか。	ステンレス鋼板で積算してください。

	質 問	回 答
7	M-07, 02 「配管用ラック(鋼板製)300×254H」に⑦⑨⑩の冷媒管を入れる場合、縦に3系統並べないと入りませんが、その場合配管支持架台(5)では全ての配管の支持が取れません。どのように考えればよろしいでしょうか	図面どおりに積算してください。
8	M-07, 03 架空配管架台の高さが4000Hなので、外壁周り配管の高さも4000Hと考えられますが、足場の記載がありません。どのように考えればよいでしょうか。	本工事には含まれないとして積算してください。
9	M-07, 47、設計書P.12 屋外機用基礎廻りの舗装は何になるのでしょうか。 また、舗装解体撤去費は「建築工事撤去」に含まれていると考えてよろしいでしょうか。	アスファルト舗装です。 舗装解体撤去費は、本工事に含まれないとして積算してください。
10	M-09、設計書P.7 既設汚水桝へ接続するドレン管は土中になっていますが、設計書に土工事の項目がありません。どのように考えればよいでしょうか。	本工事に含まれないとして積算してください。
11	M-09、21 撤去図にドレン管が記載されていませんが、保健室のドレン管はの「既設ドレン管に接続」とあるドレン管の口径はいくつでしょうか。	50Aです。
12	M-14 パスタダクトの吹出口、吸込口は共にVHSでよろしいでしょうか。	吹出口VHS、吸込口HSです。
13	M-05, 18 EF-S-8～13は機器表ではストレートシロッコファンになっていますが、平面図では片吸込シロッコファンに見えます。どちらが正しいのでしょうか。 また、ストレートシロッコファンが正しい場合、ダクト接続は平面図のようになりませんがどのように考えるのでしょうか。	ストレートシロッコファンを正とし、ダクト用たわみ継手で接続するとして積算してください。
14	M-18, 24 既設ダクトの範囲(既設ダクト接続箇所)と撤去ダクトの範囲が異なります。 どちらが正しいのか、ご指示ください。	M-18を正としてください。

	質 問	回 答
15	M-19 「講義棟1階(S側)機械室ダクト平面詳細図(改修後)」とありますが、本工事なのでしょうか。	本工事対象外です。
16	M-21～25 撤去範囲の網掛けの線が太いため、文字が潰れて読めません。読める図面を配布してください。	別紙図面を参照してください。
17	図面番号 M-24 エアーチャンバー撤去の寸法が網掛けで不明確です。寸法を教えてくださいたいのですが	
18	M-21, 22 図面右下※印に配管切断20Aを機器ごとに行うよう書いていますが、全て「鋼管類 保温有」でよろしいでしょうか。	ご質問の通りです。
19	M-21, 22 FCU撤去後に床塞ぎを行うようになっていますが、どのくらいの大きさでどのように塞ぐのか不明です。ご指示願います。	100φモルタル穴埋めで積算してください。
20	M-24, 25 機械室の断面図がないと撤去ダクト、配管の数量が拾えません。断面図の配布、または撤去数量をご指示ください。	撤去数量は下記になります。 M-24 商業棟機械室 長方形ダクト撤去 0.5mm 17.3m ² 0.6mm 68.7m ² 0.8mm 9.6m ² 鋼管撤去 20A 38.4m 25A 2.6m 32A 1.3m 40A 9.5m 50A 11.9m M-25 体育棟機械室 長方形ダクト撤去 0.5mm 9.2m ² 0.6mm 12.2m ² 0.8mm 13.9m ² 鋼管撤去 20A 51.7m 25A 1.3m 32A 25.8m 50A 9.1m
21	M-24 配管平面詳細図の注記4に「機器、配管は全て撤去する」とありますが、注記1～3を優先してよろしいでしょうか。	ご質問のとおりです。

	質 問	回 答
22	配管平面詳細図にある冷温水管は撤去になっていますが、途中で省略されており、以降がどうなっているのか不明です。 どのように考えればよいでしょうか。	以降は撤去対象外です。
23	M-24, 25 配管平面詳細図の注記3では、「既設GVがない場合、新設工事にて新たにGVを設置」とありますが、詳細図ではプラグ止めになっており、設計書にGVの記載がありません。どのように考えればよいでしょうか。	プラグ止めとして、積算してください。
24	M-25、設計書P. 13 体育館棟の機械室内は注記にアスベストの記載がありませんが、設計書に「アスベスト処理」があることから、商業棟の機械室と同様と考えてよろしいでしょうか。	ご質問のとおりです。なお、レベル2で作業を行うとありますが、配管エルボ・ダクトフランジ非石綿部で切断する方法で積算しております。
25	M-07, 45 空調設備図と建築図で点検口の数量が異なります。 応接室(印刷) 空調2 建築0 応接室1(応接室) 空調2 建築1 校長代理 空調1 建築0 ミーティングルーム 空調1 建築0 技能員室 空調1 建築0 どちらが正しいのでしょうか。	M-45を正として積算してください。
26	M-47 室外機コンクリート基礎の寸法が2辺しか記載されておらず、記載されている寸法と実寸が異なるため、変形部分の寸法が分かりません。ご指示願います。	
27	設計書P. 7 制御設備の商業棟のEM-CEEケーブル467mに対し、EM-EEFケーブルが4mしかありませんが、それでよろしいでしょうか。	よろしいです。
28	設計書P. 12, 13 「空調制御設備撤去」は何を指しているのでしょうか。ご指示願います。	冷媒管共巻の制御線及び電源線です。
		以上

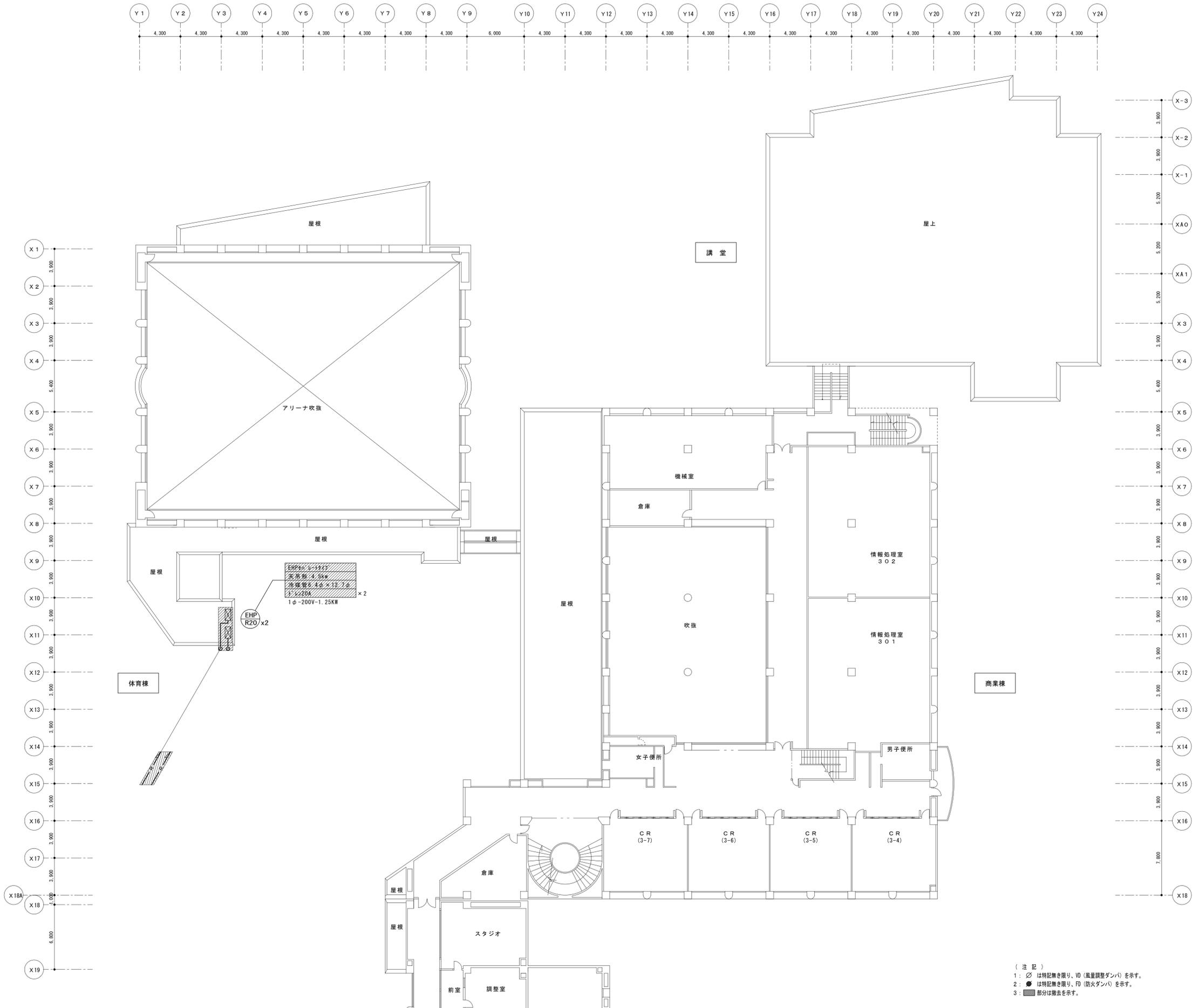
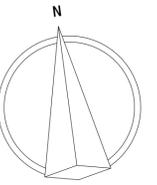


(注記)
 1: ○ は特記無き限り、VD (風量調整ダンパ) を示す。
 2: ● は特記無き限り、FD (防火ダンパ) を示す。
 3: ■ 部分は撤去を示す。

※FCU 1台あたり配管切断20A 3か所、
 FCV 1台あたり配管切断20A 2か所、
 PH-W 1台あたり配管切断20A 2か所

2階平面図 (商業棟・体育棟・講堂) (撤去) A1:1/200 A3:1/400

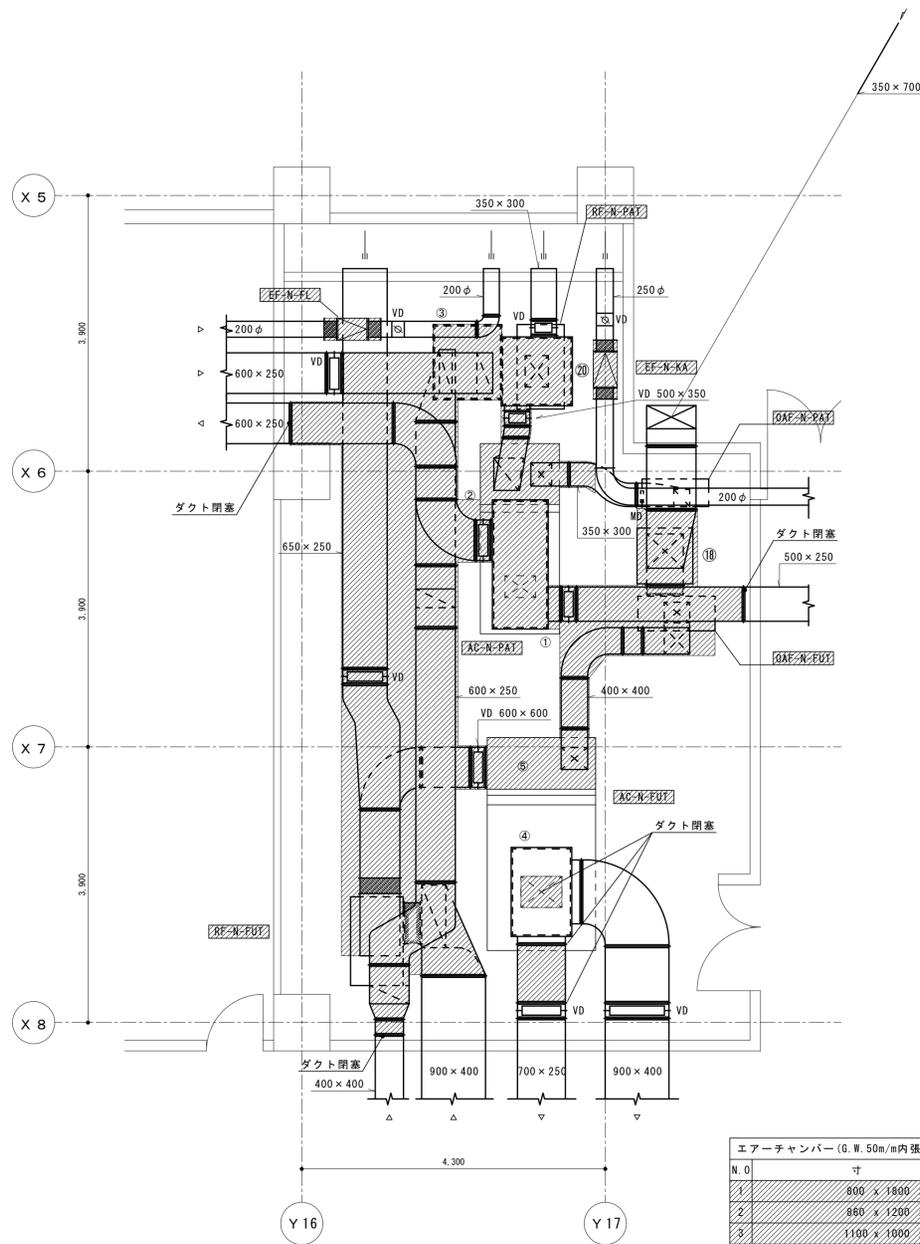
備考				
設計者	協同組合横浜市設備設計	工事名	横浜商業高等学校空調設備改修工事 (機械)	
図面名称	(撤去) 商業棟・体育棟・講堂 2階平面図	図面番号		
作成年月	令和 4年 3月	公益財団法人	横浜市建築保全公社	M-22



(注記)
 1: ⊗ は特記無き限り、VD (風量調整ダンパ) を示す。
 2: ● は特記無き限り、FD (防火ダンパ) を示す。
 3: ■ 部分は撤去を示す。

3階平面図 (商業棟) R階平面図 (体育棟・講堂) (撤去) A1:1/200 A3:1/400

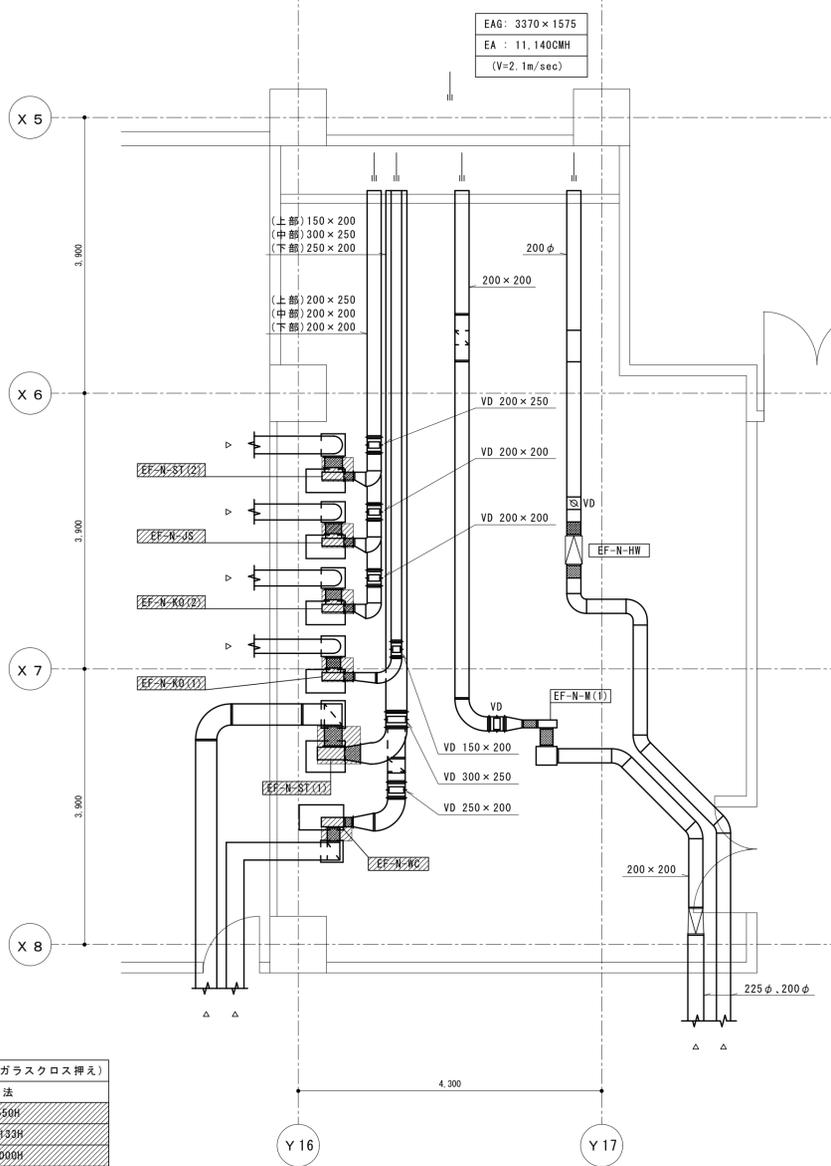
備考	工事名	横浜商業高等学校空調設備改修工事 (機械)		
	図面名称	(撤去) 商業棟 3階平面図、体育棟・講堂 R階平面図	図面番号	
	協同組合横浜市設備設計	作成年月	令和 4年 3月	M-23
		公益財団法人 横浜市建築保全公社		



1階機械室空調ダクト平面詳細図(撤去) A1:1/50 A3:1/100

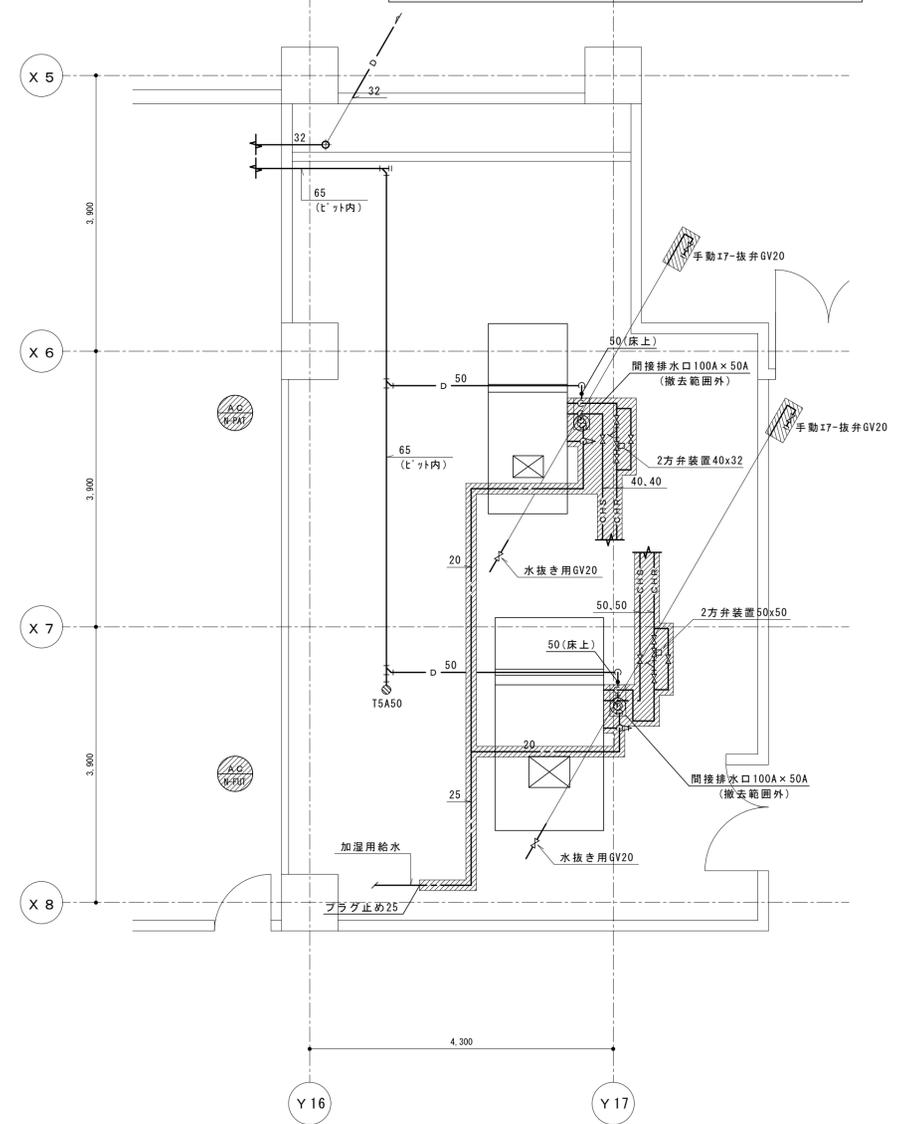
- 注 1. 斜線部分は撤去を示す。
 2. 機械室内撤去はアスベストを含んでいるため、レベル2にて作業を行う。
 3. 機器(AHU、ファン)の撤去を行う。(キャンパス継手から)

エアチャンバー(G.W.50m/m内張りガラスクロス押え)		
N.0	寸	法
1	800	1800 × 550H
2	880	1200 × 1133H
3	1100	1000 × 1000H
4	1200	1000 × 700H
5	880	1700 × 1303H
18	800	800 × 1300H
20	1000	1000 × 600H



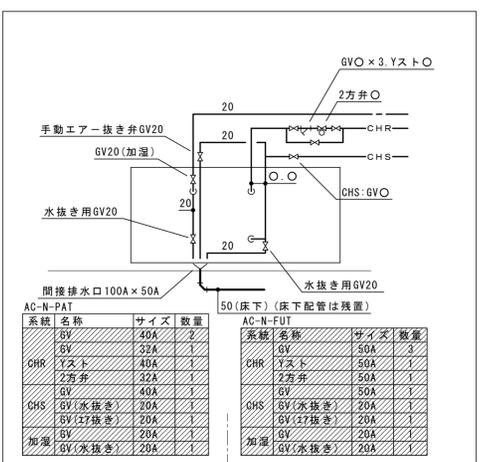
1階機械室換気ダクト平面詳細図(撤去) A1:1/50 A3:1/100

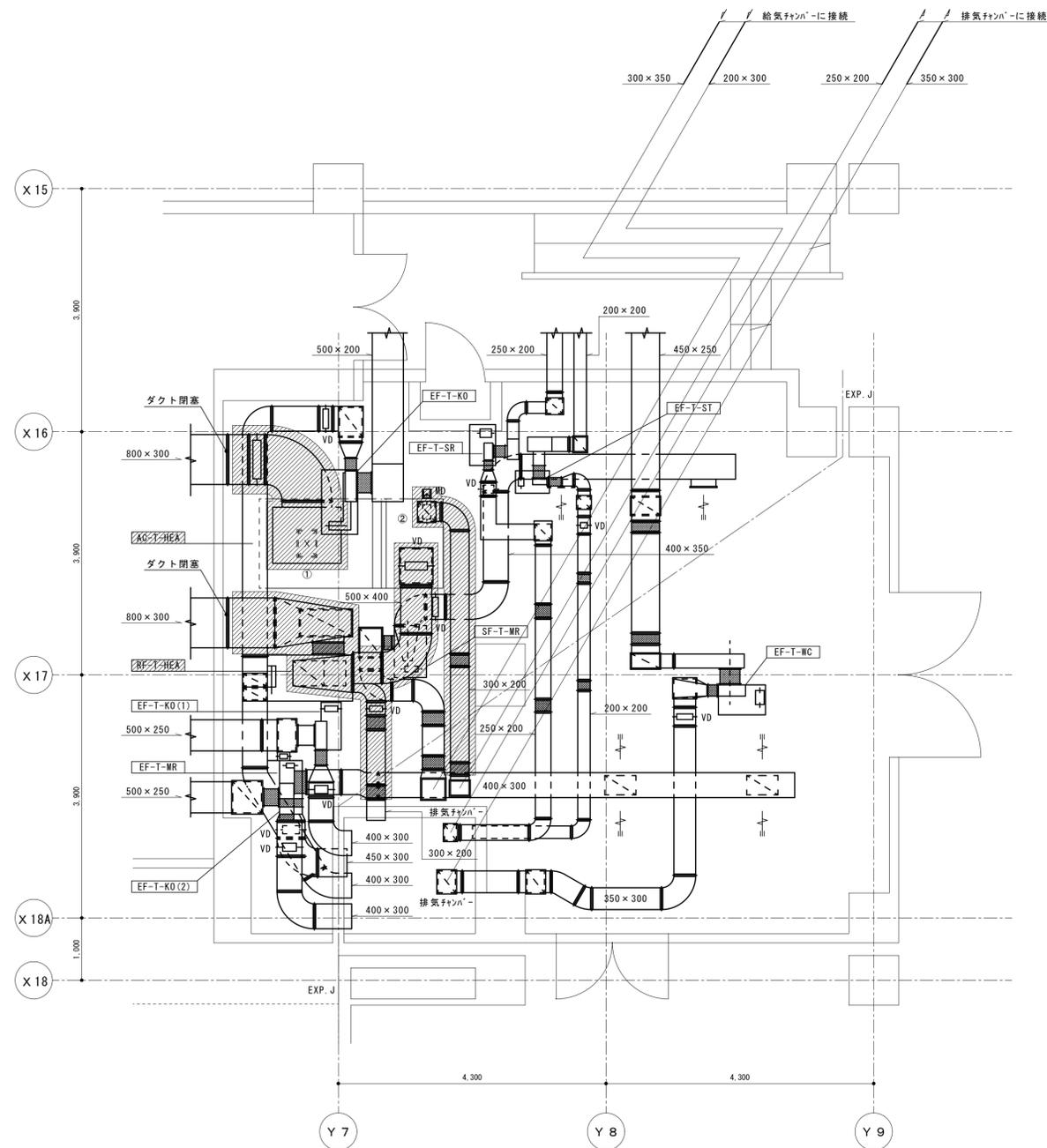
- 注 1. 斜線部分は撤去を示す。
 2. 機器(ファン)の撤去を行う。(キャンパス継手から)



1階機械室配管平面詳細図(撤去) A1:1/50 A3:1/100

- 注 1. 既設ドレン配管の撤去はしない。
 2. 斜線部分は撤去を示す。
 3. 既設加湿用給水管において既設GVがある場合はGV以降を撤去。既設GVがない場合、新設工事にて新たにGVを設置、以降を撤去する。
 4. 機械室内の機器、配管は全て撤去する。





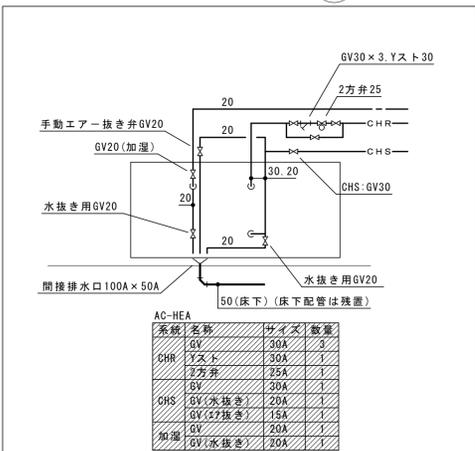
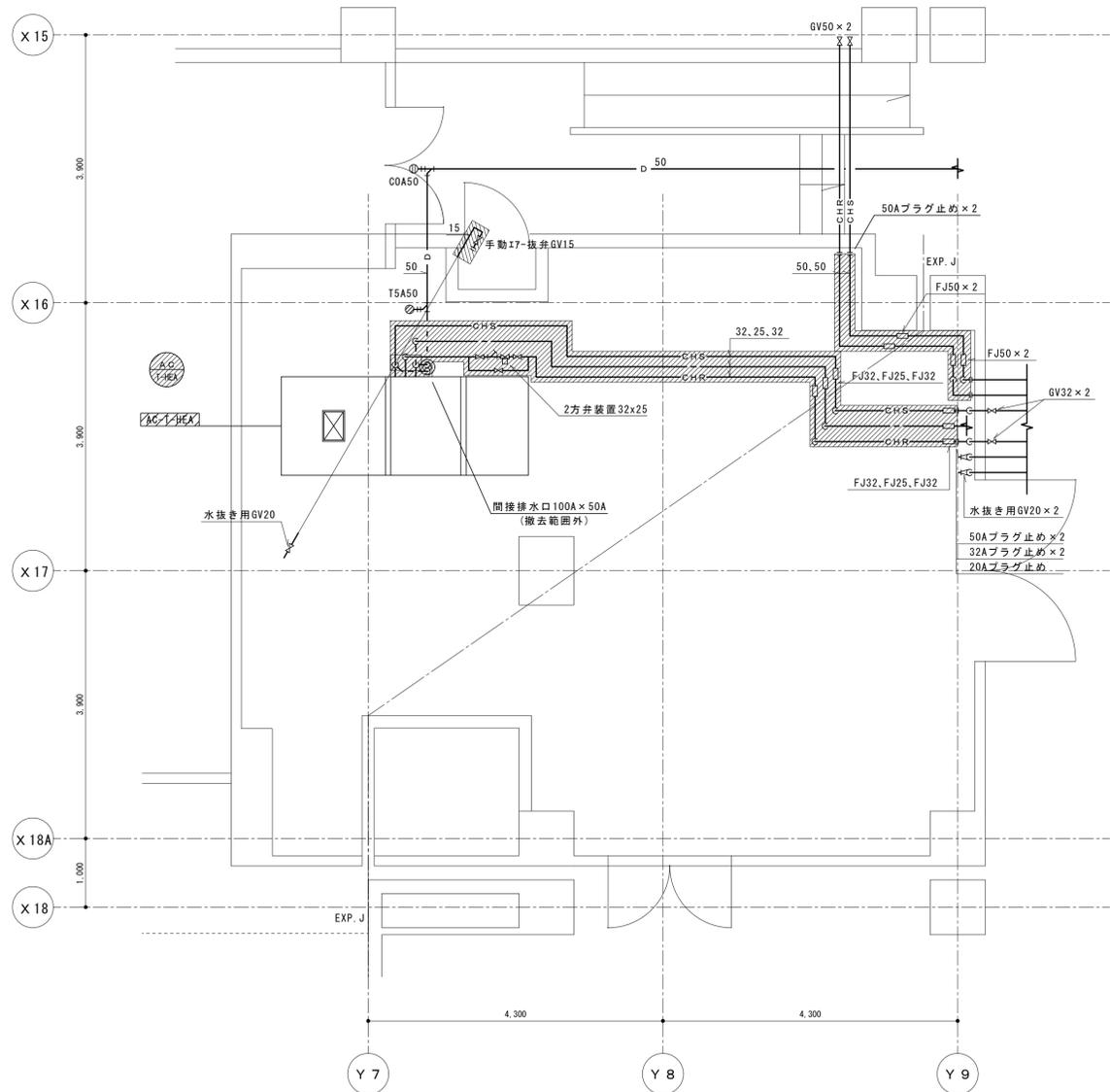
エアチャンバー (G.W.50m/m内張りガラスクロス押え)		
N.O	寸	法
1	900 x 1100 x 600H	
2	880 x 1200 x 1133H	

室名: 設備機械室		
VHS	数	
600 x 200	2	
SA: 1000CMH		
TSA: 2000CMH		

室名: 設備機械室		
HS	数	
500 x 300	2	
EA: 1000CMH		
TEA: 2000CMH		

1階機械室換気ダクト平面詳細図(撤去) A1:1/50 A3:1/100

- 注 1. 斜線部分は撤去を示す。
 2. 機器 (AC-T-HEA, RF-T-HEA) の撤去を行う。



系統	名称	サイズ	数量
AC-HEA	GV	30A	3
CHR	Yスト	30A	1
	2方弁	25A	1
	3方弁	30A	1
CHS	GV(水抜き)	20A	1
	GV(排水)	15A	1
	GV	20A	1
加温	GV(水抜き)	20A	1

1階機械室配管平面詳細図(撤去) A1:1/50 A3:1/100

- 注 1. 既設ドレン配管の撤去はしない。
 2. 斜線部分は撤去を示す。
 3. 既設加温用給水管において既設GVがある場合はGV以降を撤去。
 既設GVがない場合、新設工事にて新たにGVを設置、以降を撤去する。